

# ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.112

2020

2.1

特集

## さくらんぼ東根温泉 と 東根市議会

イルミネーションで彩られた足湯



東根市議会

検索



**特集**  
**さくらんぼ東根温泉と市議会**

市民に親しまれている「さくらんぼ東根温泉」は、国際交流が活発になる中で東根の観光資源として未来を見据え、インバウンドも視野に入れて活動しています。

今回はそんな「さくらんぼ東根温泉」活性化のために活動する方々にお話をお聞きしました。



▲全国でも珍しいペットの足湯



**よりの多くの方に愛される温泉地に！**

**国内外の観光客を取り込み、活気ある地域づくりを目指す**

**元木理事長** 東根温泉協同組合

では、2月に雪まつり、7月に夏まつりを開催。他にも様々なイベントに協力し、温泉のPRに努めている。また一昨年にはドイツのハンドボール、昨年は同国シッティングバレーボールの合宿を受け入れ、宿泊・食事を提供したことは、これからのインバウンド対応に向けて大きな経験となった。

**東海林副理事長** インバウンド

が増える事や国際交流が進む事は、ビジネスチャンスと考える。しかし外国人だけの旅行者が来た場合などは、ジェスチャーで対応しているのが現状である。

**斉藤事務長** 組合では1月から

フロント業務を担っている人を対象に英会話講座を行い、外国人観光客に対応する予定でいる。

**東海林るみ**

昨年にシンガポ

ールでの市長・JA組合長らの

トップセールに同行した。その際に東根温泉のPRもした。同国は富裕層が多く、東根産の果物は需要があると感じた。農産物だけでなく、温泉も含めオール東根で売っていったら良いと思う。

**五十嵐桃子**

女将の会では、雑膳の提供やひがしね祭の山車に乗ったり、東根周辺の企業等へ

のPR活動等をしている。市内

や県内に限らず、もっと多くの人に東根温泉を知ってもらいたい。

**早坂委員**

温泉活性化委員会では、6月に朝市、11月に湯煙はしご酒というイベントを行っている。他にも各種イベントに出向き、温泉活性化のためにPR活動を展開している。私は温泉町が賑やかになるために自ら活

- ※インバウンド…おもに旅行関連では、外国人が訪日（旅行または観光）すること。
- ※SNS…インターネット上で人と人の繋がりや交流を楽しむコミュニティ型の会員制サービス。
- ※eスポーツ…ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

性化委員会に参加した。イベントだけでなく、誰が来ても楽しい街になれば良いと思う。SNS<sup>\*</sup>などをもちと活用してはどうか。

**坪沼委員** いろいろなイベントを行いPR等しているが、大きな集客にまでは至っていないのが現状である。年々お客様の数が減る傾向にあるので、経営の安定を図りつつ少しでも集客につながる活動をしたい。

**山下実行委員長** 人通りが少なくなつた温泉街が少しでも明るくなるためにイルミネーションを点灯している。今年で11回目の開催となるが、温泉組合・消防団などと協力し低予算ながら工夫して行っている。

**齊藤事務長** 昨年初めて韓国とインバウンドの商談を行ったが契約には至らなかった。しかし実際に受け入れる立場の視点で考えるようになった。温泉旅館

だけでなく、おもてなしの心の代名詞である女将の会も観光資源の一つと捉えている。

**山下実行委員長** 私は食堂をやっているが、外国人客から英語のメニューがないか聞かれた事がある。こうしたところから外国人目線でまちづくりをするべきと思う。

**坪沼委員** インバウンドについて東根温泉は大きく出遅れていると思う。天童温泉の外国人観光客と比べると10分の1程度ではないだろうか。これからは積極的にインバウ



ンドに目を向けていきたい。

**元木理事長** 温泉の維持管理のため、今の時代に合わせた組合の定款や源泉管理規約の変更も大事な作業である。今後の活性化のためには、単発ではなく持続的な協力体制が鍵になってくる。

**山下実行委員長** インバウンドでの外国人観光客への対応と同時に東根温泉が一体となり、また他の団体やイベント等と連携することも考えてはどうか。市民をはじめ、一人でも多くの方に東根温泉のファンになつてもらうことが大事。

**齊藤事務長** eスポーツの誘致など、温泉施設を使用したこれまでにない新しい取り組みにも挑戦していきたいと思う。

インバウンドが増え、日本に、東北に、山形にと多くの外国人が訪れています。東根でも国際交流が盛んに行われる中、東根の魅力を感じてもらうために観光というテーマはとても重要です。また開湯100年を越え、市民に親しまれてきたさくらんぼ東根温泉。時代に合わせた形に変えながら活性化を図る必要がありそうです。今後、議会でも議論して参ります。

ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。

ご協力いただいた皆さん

東根温泉協同組合

元木 博史さん(理事長)  
東海林 豊さん(副理事長)  
齊藤 俊広さん(事務長)

さくらんぼ東根温泉女将の会  
東海林 るみさん(あづまや)  
五十嵐桃子さん(さくら湯)

活性化委員会

坪沼 宏さん

(よし田川別館)

早坂 理香さん  
(ヘアスタジオファンニヒム)

イルミネーション実行委員会

山下 欽也さん(実行委員長)

表紙写真

須藤 正さん

東根市のこんなことが決まりました

●会期 12月5日～12月19日

【賛否が分かれた議案】

ポイント3

会派名	議員名	議第95号
創生会	白井 健道	○
	高橋 鉄夫	○
	清野 忠利	○
政清・公明	河村 豊	○
	原田 利光	○
新会派 令和	東海林克彦	○
	三宅 一人	○
	高橋 弓嗣	○
	滝口 公一	○
	元木十四男	○
中政クラブ	ひがしね 片桐 勝寿	○
	齋藤俊一郎	○
クラブ民	浅野目幸一	○
	佐藤 直	欠席
無会派	植松 宏	×
	山科 幸子	欠席
	高橋 光男	○
	細矢 俊博	議長

○=賛成 ×=反対

※議長は採決に加わりません。

この中から3ポイントをピックアップ!

委員会発議	請願審査	事件決議	条例関連	補正予算	議論された案件
1件	2件	5件	8件	10件	

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

ポイント1



旧氏による印鑑登録、コンビニでの印鑑証明書発行のための条例が改正されました

議第89号 東根市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令の施行、及びコンビニ交付サービスの運用開始に伴う改正が可決されました。

【改正の概要】

- 住民票に旧氏の記載をしている場合、印鑑登録でも旧氏が見えるようになります。
- 印鑑証明書のコンビニ交付に向け、必要な規定を新設しました。

こんな質疑がありました

**議員** コンビニ交付に使われるキオスク端末は庁舎内にも置かれるとのことだが、窓口交付と併用しているのか。  
**市民生活部長** 併用している。庁舎内に置き利用してもらうことで利便性を知ってもらい、マイナンバーの普及にもつなげていく。

ドの普及率はどうなっているか。  
**市民生活部長** 現在の普及率は約10パーセントであるが、今後もマイナンバーカードの普及に努める。

議員 マイナンバーカード



※コンビニ交付サービスの利用には、マイナンバーカードが必要となります

## ポイント2



### 東根市も会計年度任用職員制度に移行します

議第85号 東根市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定について

4月より国の関係法令の施行に伴い、一般職の非常勤職員として創設された、「会計年度任用職員」の給与と費用弁償について定める条例を全会一致で可決しました。

#### こんな質疑がありました

**議員** 条例の施行に伴い、制度移行に該当する職員の人数と処遇の変更は。

**総務部長** 現在の嘱託職員

94名と日々雇用職員88名が制度移行の対象になる。来年度から移行された職員は、これまで時給であった給与が日額・月給になり、年次有給休暇などの休暇制度が整備される。一方で常勤職員と同様の人事評価の対象となるほか、服務規定も適用され、分限・懲戒処分の対象となる。

**議員** 雇用期間が6カ月

以上であれば、期末手当が支給されるようになることだが、どのくらいの金額を想定しているのか。  
**総務部長** 県内市町村の状況を踏まえ、1・4カ月で規定していくことを想定している。



## ポイント3



### 中核都市 山形市と新たな連携がはじまります

議第95号 山形市との間における連携中核都市圏の形成に係る連携協約の提携に関する協議について

住民サービスの向上、効果的・効率的な行政運営、圏域の活性化を目指し、山形市と連携協約を締結することについて賛成多数で可決しました。

#### こんな質疑がありました

**議員** 中核都市である山形市の機能を活用できると思われるが、東根市にはどのようなメリットがあるか。

**総務部長** ビジネスコンサルティングを行う「Yーbiz」や24時間の健康医療相談サービスの活用など中核都市の持つ機能を活用していきたい。

**議員** 締結時期など今後のスケジュールはどうなるのか。

**総務部長** 議会の議決後、1月9日に連携協約の締結式を行い、その後、連携中

核都市圏ビジョンを策定し、4月からの実施を目指していきたい。



## ● S D G s

### 2030年までの

### 持続可能な開発目標について



浅野目幸一 議員



**目録年次が重なる、第5次総合計画について**

**議員** 市の最上位計画「第5次総合計画」にSDGsの視点を反映しなければならぬと考えるがどうか。

**市長** SDGsと同様の視点は今後も、総合計画の重要なテーマとして盛り込んでいくべきものである。

**食べ物の無駄をなくす、食品ロス削減について**

**議員** SDGsや、食品ロスの削減の推進に関する法律に基づき、生ゴミの減量等に、積極的に取り組むべきと思うがどうか。

**市長** 消費者への自主的な活動を促し、イベント等において啓発活動に努めている。また、生ごみの減量化を推進するため、電気式生ごみ処理機の購入補助を行っている。

**議員** 国連が掲げる17の目標は、まだまだ認知度が低い。環境だけでなく、社会や経済など統合的な取り組みが必要と思うがどうか。

**SDGs理念の理解と普及啓発、推進拡大について**

**議員** SDGsは国際目標で、その分野は多岐に渡るため国や県、関係機関などの動向も見ながら研究する。

**議員** 持続可能な社会の創り手教育としての学校の役割りESDの目指すこととは何か。また、ICT教育の学習環境はどうなっているか。

**学校の役割り、新学習指導要領とESDについて**

**議員** 持続可能な社会の創り手教育としての学校の役割りESDの目指すこととは何か。また、ICT教育の学習環境はどうなっているか。

**教育長** ESDは、SDGsの達成に向けて持続可能な社会づくりの担い手を育てるための教育である。さくらんぼ環境ISOは、まさに環境問題をテーマにしたESDの具体例だ。

学校や地域と連携しながら工夫をこらし、学校教育の充実に今後も努めていく。

タブレットPC等の整備率は、今年度に見童生徒3・6人に1台となる。また、無線LANは100%を目指す。

#### 用語解説

※SDGs

国連が提唱する国際社会の共通目標。17の目標と169の具体目標で構成。

※ESD

持続可能な社会づくりの担い手を育成する教育。

※ICT教育

パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報技術を活用した教育手法。

# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●防災減災先進都市ひがしね

### の実現に向けて

## ●共生社会推進都市ひがしね

### を目指して



齋藤俊一郎 議員

国土強靱化政策の推進を  
問う

**議員** 国から令和2年度以降、国土強靱化地域計画策定の市町村へ防災減災対策補助金・交付金の重点化を行う方針が示された。市民の安全のため、「早急に策定するべき」と提案する。  
**市長** 大規模災害に備え、被害の最小化や迅速な復旧復興の体制を作り上げていくうえでも国土強靱化地域計画の策定の意義は極めて高い。安全・安心に向けた対策をより加速するために、策定を指示しているところである。

全ての市民がやさしさに  
包まれた街づくりに向けて

**議員** 6月に「東根市障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」が施行し、10月には、パラリンピックの「共生社会ホストタウン」登録を受け、全ての市民がお互い街全体が、やさしさと思いやりに溢れた「共生社会都市ひがしね」

の実現に大きな一歩を踏み出した。今後の取り組みは、

**市長** 条例施行や共生社会ホストタウンを契機に社会的な弱者に開かれた多様性を認める社会システムの構築、障がい者の自立支援、バリアフリーやユニバーサルデザイン化に向け、市民参加型の共生社会都市ひがしねを目指していきたい。

**議員** 「地域生活支援拠点」と「基幹相談支援センター」の整備を強く求める。また、北村山圏域での福祉サービスを協議する自立支援協議会の予算化を求める。  
**健康福祉部長** 東根市単独の設置は難しく、北村山地区での面的整備を目指して検討していきたい。今後も

北村山自立支援協議会の機能を高め議論していきたい。  
**議員** 心も含めたバリアフリーを進める絶好の機会だ。障がい者スポーツの理解を深める事業や社会施設バリアフリー化の改善が急がれる。今後の取り組みは、  
**教育次長** 議員提案の国・

県等の補助メニューを調査し、活用に向けて研究していきたい。バリアフリー化の推進では、今後、東の杜の改修を検討していきたい。

### 「東根市第5期障がい福祉計画」・「第1期障がい児福祉計画」で定めた福祉サービス見込量と実情

サービス名	単位	第4期計画（実績）			第5期計画（見込量）※30年度実績		
		27年度	28年度	29年度	30年度	令和1年度	令和2年度
計画相談支援 ※1	利用人数/年	208名	219名	220名	235名（実績243名）	257名	269名
障害児相談支援 ※2	利用人数/年	56名	83名	92名	110名（実績120名）	126名	140名
児童発達支援 ※3	利用人数/月	13名	27名	32名	37名（実績 56名）	46名	54名
放課後等デイサービス ※4	利用人数/月	44名	55名	60名	73名（実績 85名）	80名	86名
保育所等訪問支援 ※5	利用人数/月	0名	0名	0名	1名（実績 4名）	1名	1名

※1…18歳以上の障がい者の方に対し、計画支援専門員によるサービス等利用計画案の作成やサービス事業所等との連絡調整  
 ※2…18歳未満の障がい児の方に対し、計画支援専門員によるサービス等利用計画案の作成やサービス事業所等との連絡調整  
 ※3…動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援  
 ※4…学校の授業終了後、生活能力の向上のための訓練、社会との交流の促進などの支援  
 ※5…保育所等の訪問により、集団生活への適応のための支援、保育所等の安定した利用の支援

## ●防犯カメラの設置について

## ●有害鳥獣による被害の現状について



東海林克彦 議員

防犯カメラの  
設置について

**議員** 近隣自治体において道路や公園に防犯カメラを設置している事例について把握しているか。

**市長** 近隣自治体が設置しているカメラについては、ほとんどが施設の管理用であり、道路や公園へは極めて少数である。

**議員** さくらんぼ東根駅からまなびあテラスや東桜学館へ至る道路に防犯カメラを設置してはどうか。

**市長** カメラの設置については、設置場所の見極め、周辺住民のプライバシーの問題等もあるが、犯罪抑止力の有効性や事件発生時にカメラの映像により早期に事件が解決されれば市民の不安解消に繋がることから、情報提供のあり方等もあわせて、設置に向け検討する。

有害鳥獣による  
農業被害の現状について

**議員** サル、イノシシによる被害実態はどのように

推移しているのか。

**市長** 本市の被害は、鳥類が市内全体に広がっているのに対し、獣類は東根東部、東郷、高崎の中山間部で発生しており、農作物全般にわたる食害が上げられる。また、サル被害では民家への侵入、イノシシは農地等の広範囲の掘り起こしにより収穫不能になったケースもあり、本市農業の将来を左右しかねない深刻な課題と認識している。サル、イノシシによる被害は、ここ数年2億5千万から3億円と横ばいで推移しており、対策として侵入防止や駆除を市猟友会や農協と連携して行っている。柵はサル用18キロ、イノシシ用7キロを設置。併せて駆除や広域で組織された対策協議会で情報共有を行っている。更に「東根市鳥獣被害防止計画」を策定し各種対策等の有機的連携を図ってきた。

**議員** 農家ばかりでなく地域全体の問題として、家庭菜園等の対策についても



▲イノシシによる果樹畑の掘り起こし



▲イノシシによる田んぼの稲の踏み倒し

アドバイス等の支援を願う。



# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●保育園の副食費は市の負担にできないか？

## ●高校生以下の国保税「均等割り」は 免除すべきでは？

## ●減らない農作業事故 市の防止対策は？



植松 宏 議員

### 保育園の副食費について

**議員** 10月から幼児教育・保育が無償化されたが副食費（おかず代等）は実費徴収されている。保護者の負担軽減からも副食費を市で負担すべきではないか。  
**市長** 副食費の助成については、家庭でこどもを見ている世帯との公平性から家庭での食事、被服等と同様に保護者負担が前提。当面はルール通りの運用を図りながら、今後国、地方の議論の展開を待ちたい。  
**議員** 近隣自治体では副食費を負担しているところもある。この度の、国、県の負担増による市の軽減額で助成できるのではないか。



### 健康福祉部長 負担自治体

は、少子高齢化や人口減少自治体に多く、本市では当面現状維持すべきと考える。

### 国保税の負担軽減について

**議員** 国保財政の都道府県一本化がスタートしたが本市の国保税負担額は以前とほぼ変わらない。高校生以下の「均等割り」は免除すべきではないか。  
**市長** 高校生以下の均等割免除については、他の加入者への負担転嫁とならざるを得ず難しい。国保財政基盤の安定強化のために、全国市長会において、近年継続して国に財政支援を要望しており、今般の国保改革において支援額も増額となった。引き続き国の支援拡充に向け働きかけていく。

### 農作業事故防止対策について

**議員** 全国で毎年300から400人が農作業による事故で亡くなっている。

死亡事故は、事故全体から見れば氷山の一角。市の事故防止策は。

**市長** 本市における農作業事故による緊急搬送者は過去五箇年平均で14・4件。ほとんどが脚立、テント等からの落下事故。死亡事故はこの間1件。事故防止対策は県や農協と連携して防止を呼びかけている。今後は、安全で効率的な果樹の仕立て方の普及等にも努めていきたい。

**議員** この間、本市においても事故件数は減っていない。これまで以上に対策を強化してほしい。

### 市町村国保の保険料、加入世帯の平均所得（年次推移）

年度	被保険者1人当たり保険料(円)	加入世帯の平均所得(万円)
1985	43,357	186.8
1990	62,092	240.5
1991	65,284	276.5
1995	70,620	230.8
2000	79,123	197.5
2005	80,352	168.7
2010	88,578	145.1
2015	92,124	139.6
2016	94,140	138.8

出典：厚労省保険局「国民健康保険事業年報」各年度版、同「国民健康保険実態調査報告」各年度版

## ●宮崎西道線延伸事業に 向けた取り組みについて

## ●インゲルハイム アム ライン市 訪問の成果と展望について



高橋 弓嗣 議員



宮崎西道線延伸事業と  
東根北部ブロックの街づくり

**議員** 都市計画道路宮崎西道線の延伸事業に向けて、今後の市の取り組みはどのようなになっているのか。

**市長** 今年山形県に対する本市の重要事業として新規採択を要望した。県は市の立場で検討することのこと。早速8月に県と市の事務担当者で勉強会を立ち上げ、さらに来年度は調査事業を立ち上げて技術的な課題等を研究していく。今後も県に対し強く要望する。

**議員** けやき交流広場の整備や東の杜のオープンな

ど、活性化のための拠点施設を整備したが、宮崎西道線の延伸整備により、東根北ICから国道48号を結ぶ流れができた場合の東根北部ブロックの街づくりの施策について伺う。

**建設部長** 東根北部ブロックの活性化を図るには、国道48号や東北中央道から新たな交流人口の呼び込みが必要。またこの流れが本町商店街や東根温泉を回遊する仕組みをつくる新たな施策も必要。事業の進捗に合わせ、地域の声を聞きながら研究する。

インゲルハイムアムライン市  
訪問と子ども達の国際交流

**議員** 国際交流の推進を掲げ、インゲルハイム・アム・ライン市と交流を展開する中で、市民訪問団と共に同市を訪問したが、その成果と今後の展望は。

**市長** 同市のクラウス市長などより歓迎を受け、関係が前進していると実感した。姉妹都市提携に向けた



道筋を確認することができたことは、非常に大きな成果である。今後も市民同士の友好の場を広げ、さらに堅固な友好関係を築きたい。

**議員** 子供同士の交流が始まったことも成果の一つだが、今後はどのような交流を展開していくのか。

**教育次長** 同市ペスタロッチー小学校の子供達から託された手紙に対し、東根中部小6年生が返事の準備に取り掛かっている。一過性の取り組みではなく継続した活動にし、友好のかけ橋の一助にしたい。

# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●外国人個人旅行者の受け入れ

### 環境の整備強化を！

## ●学習障害の児童生徒の把握と

### 学習環境の整備を！

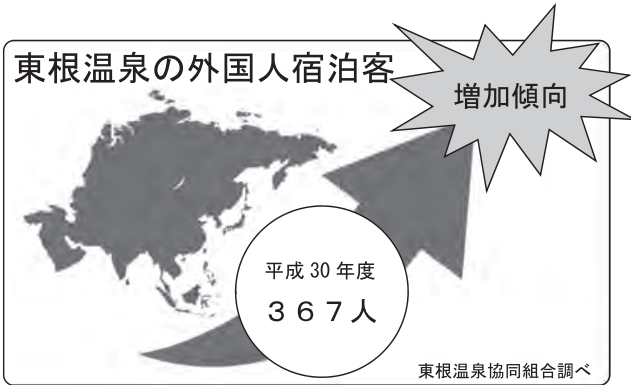


片桐 勝寿 議員

外国人個人旅行者の  
受け入れについて

**議員** 本市における外国  
人観光客の状況は。

**市長** 観光物産協会の観  
光案内窓口にも毎月数人の  
外国人観光客が訪れ、また、  
東根温泉協同組合の把握で  
は、平成30年度の宿泊者数  
は367人という状況。



**議員** 本市における外国  
人観光客への取り組みは。  
**市長** 観光物産協会が観  
光局の外国人観光案内所と  
して認定を受け活動し、多

くの温泉旅館や店舗などで  
は無料WiFiの整備、  
更に、さくらんぼマラソン  
大会などのイベントにおい  
て情報発信、観光果樹園へ  
の誘客活動を行っている。

今後、SNSでの本市の紹  
介など情報通信をさらに高  
めていく必要がある。また、  
周辺観光地と広域で連携し、  
外国人観光客を呼び込み、  
本市を通過点にはなら  
ない。2次交通手段の充実  
さらにはキャッシュレス化  
への対応などへ支援し、強  
化していくことが必要と考  
える。

読み書きに困難を抱える  
児童生徒について

**議員** 読み書きに困難を  
抱える児童・生徒について  
どのように把握し、また、  
学習指導はどのようになっ  
ているのか。

**教育長** 医療、心理、福祉  
特別支援教育等の専門家  
による教育支援委員会を設  
置し、報告を受けた児童生  
徒について、適正な就学や指

導・支援のあり方について  
協議・判断を行っている。

**議員** 教育支援委員会  
が把握する読み書きに困難  
を抱える児童・生徒の数は。  
**教育次長** 小学生が90名、  
中学生が27名ですが、LD  
と診断された子はいない。  
**議員** 適切な指導のため  
に、正確な診断ができる体  
制の整備をお願いしたい。  
学習指導の中にタブレット  
端末を取り入れる事を研究  
して欲しい。

### 学習障害 (LD)

知的発達に遅れはなく、聴覚・視覚機能にも問題がないに  
もかかわらず「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算・推論  
する」ことが、極端に苦手である状態のこと



## ●安全安心な地域づくりに向けて

### 激甚化する自然災害への対応策の推進を!

### 神町小学校移転準備の万全を!



高橋 鉄夫 議員

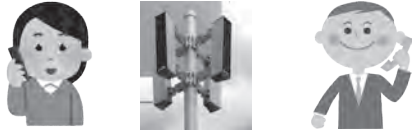
減災・避難のための  
対応策の推進を

**議員** 情報伝達の充実策は。

**市長** 防災行政無線の内容が聞き取れないとの課題が生じており、テレホンサービス、登録制メール、ホームページで内容確認が可能としている。また、機能的な情報伝達策を講じる。  
**議員** 避難行動要支援者等への対応策は。

**市長** 洪水ハザードマップの更新で、要配慮者利用の26施設が浸水想定区域内に入り、施設への周知や、

防災行政無線が聞こえないときは！  
電話で放送内容を確認できます。  
☎0237-48-9355



○防災行政無線の放送終了後から、利用できます。  
○放送内容が確認できるのは、放送後24時間以内です。  
○電話回線が、混み合うことがあります。  
○通話料が、かかります。

東根市総務部庶務課危機管理統計係 Ⅱ42-1111 内線3320

今年度中に避難確保計画作成を求めている。

**議員** 対応体制、対応要領等の充実は。

**市長** 関係機関との情報の共有、災害対策連絡会議の招集等早めの対応を図る。来年度は、危機管理室を設置し、災害に強いまちづくりを推し進める。

**議員** 減災について、市の過去の浸水対応事例や神町地区の道路冠水など、災害の兆候と捉え、雨水排水対策の早期実施を要望する。

早期移転準備体制、  
要領等の確立を

**議員** 移転準備の進捗状況と取り組みは。

**教育長** 移転準備は、学校と委員会事務局が準備する部分に分け、計画的に進めている。今後は、予算措置の協議など新校舎での教育活動の円滑化に対応していく。

**議員** 通学路選定の考え方と進捗状況は。  
**教育長** 通学路は、児童の



安全を最優先に設定を進める。現在、移転後に想定される通学路の原案が集約され、通路状況、安全性の確認など交通事情の把握に努める。

**議員** 今後の進め方は。  
**教育次長** 市通学路安全対策推進協議会で課題を共有し計画的に進める。緊急性、特殊性など迅速な対応が必要な場合は、随時、所管管理者等に依頼する。

**議員** 防犯灯について、将来を担う児童の通学路の安全確保は、優先されるものと考えている。特別枠での設置を要望する。

# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●本市の防災・ 減災について



原田 利光 議員

いつ起きるかわからない災害  
万全な備えを

**議員** 近年、記録的な豪雨や台風等の災害が頻発している。そこで本市の防災について伺う。

災害時に避難所となる施設のエアコンなどの機器設置はどうなっているか。

**市長** 災害時、避難所になりうる小中学校の体育館などのエアコン設置は、今後も強く国に要請していく。

**議員** 本市における災害廃棄物の置き場所、処理の考え方と計画は。

**市長** 災害ゴミは、災害廃棄物処理計画を策定し、処理の迅速化を図る。

**議員** 介護施設などの入居者の避難確保計画について伺う。

**市長** 要配慮者などの避難に関しては、対象施設へ避難確保計画の策定を指導している。

**議員** ペット同行の避難所指定について伺う。

**市長** ペット同行の避難は、全ての指定避難所で受

け入れることとしている。

**議員** 避難所における停電対策として、自家発電及び発電機の整備状況について伺う。

**総務部長** 発電機及び、ガソリン携行缶は、全ての指定避難所に配置し、管理している。

**議員** この度の台風19号で、本市でも街路樹の倒木被害が発生し、最上川の水位が上昇した。バックウォーター現象や堤防決壊も想定される中、今回は、水門閉鎖がおこなわれた。荷口川には汲み上げポンプが2台設置されているが、平内川にはポンプがなく、国・県に対し早急な設置を要望してほしい。

また、倒木対応のためのチェンソーの配備、防災無線の聞き取れない地域などへ防災ラジオの導入、避難所には乳幼児用の液体ミルクの配備、消防団には救命胴衣・救命ボート・胴長靴などの配備を要望する。  
**市長** いずれにしても、

出来ることから、整備をしていきたい。

**議員** 災害は、いつ起きるかわからない。市民の安全安心な生活のためにも、早急な対応をお願いする。



▲乳幼児用の液体ミルク

# Q & A

皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## ●東根市都市計画マスタープランにおける 中部ブロックの地域整備について

## ●市民バス、デマンド型乗合タクシーの 運行体制と今後の展開について

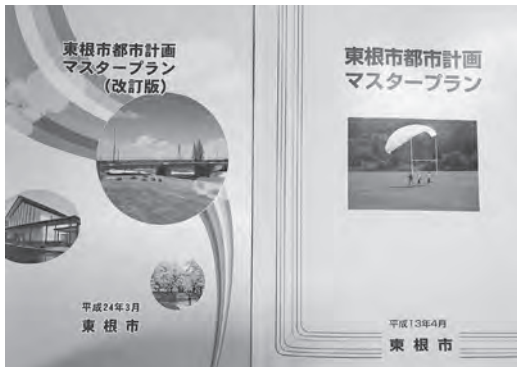


三宅 一人 議員

中部ブロックの  
まちづくりについて

**議員** 東根市都市計画マスタープランにおける、これまでのまちづくりについて伺う。

**市長** これまでの本市のまちづくりは「東根の顔づくり」を進めるため様々な施設を誘導し、新たなまちづくりを進めてきた。また、「教育によるまちづくり」を実践し、中心部には多くの生徒や施設利用者の姿が見られ、中心市街地の形成が図られ、にぎわいを感じている。これらの施策が評価され、県内で唯一人口が



増えている本市を築いているものと捉えている。

都市計画道路の未着工区間の整備について

**議員** 都市計画道路豆田平林線、平林原方線の整備促進について伺う。

**市長** 中央西、六田地区は中央、一本木に隣接し、良好な住宅地として、まちの広がりを進める区域であると捉える。防災・減災や住民の安全確保、まちづくりと活性化などの課題解決を図るうえで、優先的に進める路線として位置づけている。このため、豆田平林線、平林原方線については現在整備を進めている大林中央通り線が完了した後の事業着手と考えているが、地域内の課題解決に必要な路線であることは十分認識しており、早期の事業着工が図られるよう検討する。

市民バスと、デマンド型乗合タクシーの運行について

**議員** 運行体制と現状、

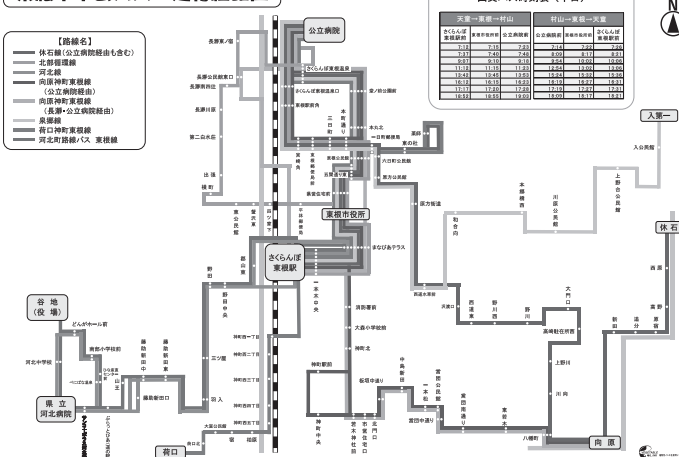
今後の展開は。

**市長** 生活の足として定着しており、地域の公共交通として大きな役割を果たしてきた。今後とも、利用利便性の向上、空白地帯の解消に努める。

**議員** 停留所がない地域の解消について伺う。

**市民生活部長** 既存路線の見直しによる対応が考えられるが、多方面からの意見を参考にしながら、より良い公共交通に努めていく。

東根市市民バス 運行経路図



# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

●子育て支援センターの活動に支援強化を!

●既存民間住宅を借り上げ

市営住宅として活用を!

●さくらんぼ東根駅西口周辺の

開発計画を早急に!



河村 豊 議員



子育て支援2つの拠点と4つの地域子育て支援センター

**議員** タントクルセンター内の子育て支援センターとあそびあランドの2カ所を拠点とし、乳幼児の保護者が気軽に交流できる場所を開設し、4つの認定こども園にも、地域子育て支援センターが設置された。活動の状況は。

**市長** 平成30年度は、子育てサロンが5千人を超え、各種相談は270件。

地域子育て支援センターは、常時、相談受付を行い、月1回程度の親子交流事業等を行っている。

**議員** 昨年度立ち上げた子育て支援センター間の会議とは。

**健康福祉部長** 「東根市子育て支援ネットワーク会議」は、連携強化、各事業の充実や市全体の子育て環境の向上を目指している。

老朽化市営住宅の  
生活環境改善を早急に!

**議員** 既存民間住宅借上げによる市営住宅の供給をどのように考えるか。

**建設部長** 直接建設方式と比較し、多額の初期投資費用を必要とせず、メリットはあるが、他の市営住宅入居者や、一般のアパート利用者との公平性に欠けることなど、大きな課題がある。今後も様々な情報収集、近隣市の動向に注視し、次期東根市公営住宅等長寿命化計画で検討していく。

**議員** 老朽化した市営住宅、住宅困窮者の自立支援、高齢世帯の見守り、空き家問題など、建設課、福祉課、生活環境課などが横断的に

情報共有し対応して欲しい。

さくらんぼ東根駅西口周辺は重要なエリア!

**議員** 並松地区や西部地区からも関心が高いさくらんぼ東根駅西口周辺の再開発について、市長の構想は。

**市長** 本市の西の玄関口となる重要なエリアで、将来的には新たな市街地形成を図ることが必要。

策定を進めている都市計画マスタープランや総合計画で、社会情勢の変化や市民ニーズなども踏まえながら整理し、今後の方向性について検討する。



## ●児童・生徒の健全育成に向けて

### 本市における小学校、中学校での いじめ問題について



元木十四男 議員

本市のいじめの現状と  
その対策について

**議員** 文科省より全国の小・中・高校などで平成30年度に認知されたいじめが54万件を超え、過去最多となったと発表された。本市での小学校・中学校におけるいじめの現状とその対策や取り組みについて伺う。

**教育長** いじめに係るアンケートなどでの把握では、小学校1386件、中学校150件で、前年比それぞれ222件増、4件減であった。「冷やかし」や「からかい」が7割を占めている。いじめ問題の対応につ



いては、「いじめの未然防止、早期発見、迅速かつ適切な組織的対応」を基本に、状況によって校長や教頭が保護者との相談に応じるなど丁寧かつ誠実な対応に努めている。多くは早期に解決している。

**議員** 全国同様小学校では増えたが中学校では僅かながら減っていることは評価に値する。最近のいじめの解消件数・率はどうか。

**教育次長** 平成30年3月の解消件数は1372件で解消率は89・8%である。

**議員** 約9割の高い解消率に安堵したが残り1割の解消に向け、更にきめ細やかな対応をお願いする。いじめ問題対策で本市独自のものがあるか伺う。

**教育次長** 『スマイルサミット』である。最近では「いじめへの対応策」の議論から「いじめを生まない学校づくりへの実践」へと前向きになっている。

**議員** 学校・家庭・地域連携の取り組みはあるのか。



**教育次長** 学校だよりやホームページ、民生・児童委員との懇談、さらに「さくらんぼスマイルネットワーク」を展開し地域の青少年育成にかかわる関係機関との話し合いをしている。

**議員** 今後とも地域全体で子どもたちを見守っていく体制づくりが大事であり、私も青少年育成団体に関わるものとして、連携を図っていきたい。当局でもさらなる連携を目指し、いじめの未然防止を願う。



# 広域組合議会等概要報告

●東根市外二市一町共立衛生処理組合議会  
第3回定例会 11月21日開催

●北村山広域行政事務組合議会  
第3回臨時会 12月23日開催

●北村山公立病院組合議会  
第3回定例会 12月24日開催

## 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

○副議長に遠藤敬知議員（天童市）を選任した。

○令和元年度組合会計補正予算、各市町負担金確定など5議案を原案のとおり可決した。

○歳入歳出予算の総額からそれぞれ2千559万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を23億6千775万4千円とした。歳入の減額は、組合市町負担金4千919万7千円の減、有価物・古紙等の単価が低く推移した事等による。

## 【各市町の負担金の額】

東根市	269,669,000円
村山市	135,748,000円
天童市	327,946,000円
河北町	115,440,000円
合計	848,803,000円

## 北村山広域行政事務組合議会

○議長に秋葉新一（村山市）を選任した。

○2019年度一般会計補正予算は、人事異動や県人事委員会に準じた人件費などを追加し総額9千319万円とする議案を原案のとおり可決した。

○監査委員の任期満了による選任については、原案のとおり岡崎英和（大石田町）の選任に同意した。

## 北村山公立病院組合議会

○副議長に大山正弘議員（村山市）を選任した。

○2019年度事業会計補正予算など6議案を原案のとおり可決した。

○上半期の状況を踏まえ、年間の業務予定量を見直し、事業会計を補正した。

## 平成元年度 北村山教育表彰者（6人受賞のうち東根市分）

石川 恵麻 第一中学校2年

16回全国中学生弓道大会JOCジュニアオリンピックカップ大会 個人女子の部 優勝

工藤 椰己 東海大山形高校2年

6回近代3種日本選手権大会兼13回JOCジュニアオリンピックカップジャパン近代3種シリーズ

2018ファイナル大会 高校・一般女子の部 優勝

後藤 優歩 天童高校3年

坂本 萌花 天童高校2年

令和元年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 第64年全国高等学校弓道大会 女子団体 優勝

## 年間の業務予定量

	患者数	当初比較
入院	86,808人	▲2,426人
外来	101,149人	3,303人

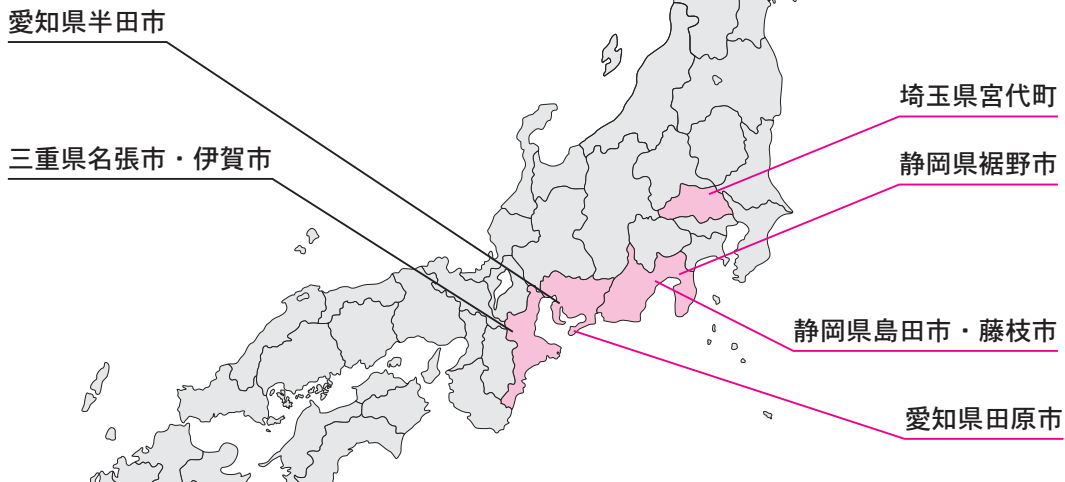
## 収益的収支

	予定額
病院事業収益	5,486,970,000円
病院事業費用	5,726,890,000円
差引合計	▲239,920,000円

# 行政視察報告

東根市議会では、各常任委員会ごとに所管する行政事務事業についてテーマを設定し、課題に対する調査・研究を目的として先進地視察を行っています。東根市がさらに住みやすいまちになるよう市当局へ事例紹介をしたり、さらには政策提言などに役立てています。

ここでは、今年度実施した3つの常任委員会の行政視察について紹介します。



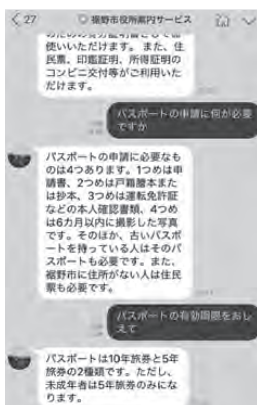
## 総務文教常任委員会

### 裾野市官民データ活用 推進計画について

#### 静岡県裾野市

計画に基づき、推進体制の構築のために外部組織である一般社団法人 Code for Japan とパートナーシップ協定を締結していました。データ利活用の人材養成として、市職員向け、市民向けのセミナーなどを開催し、その成果として、市民課の窓口案内をLINEの自動応答機能で行うという実証実験を進めていました。実験に使うデータは、市民と行政が一緒に整備し、回答の精度を上げていくというもので、今後の研究の参考になると感じました。

裾野市のLINE画面▶



## 令和元年 10月28日～10月30日

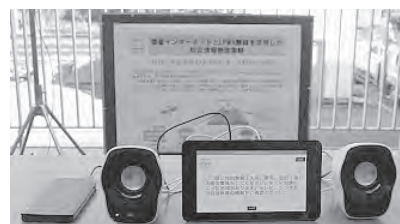
### ICTを活用したまちづくりについて

#### 静岡県島田市、藤枝市

両市とも、産業へのICTの導入・利活用、ICTを活用した次世代の人材育成、時間や場所にとらわれない働き方の推進を基本目標として、多くの事業に取り組んでいました。

特に興味を持ったのは、島田市では、無線通信技術LPWAを活用した防災行政無線の、難聴地区への情報発信実験でした。藤枝市では、(株)ソフトバンクとの共同でLPWAを活用し、児童の登下校お知らせサービス、獣害対策としてわなにセンサーを設置して通知を受け取るシステム、水害対策として市内河川に水位計、雨量計の設置などがありました。

いずれも実証実験の段階でしたが、ICTの活用について議論していくうえで、大いに参考になると感じました。



▲島田市防災行政無線難聴地区情報伝達機器



▲藤枝市内の河川設置の水位計

一般社団法人 Code for Japan…IT技術を活用した地域課題の解決を目指す非営利団体。

LPWA…Low Power Wide Areaの略。低消費電力で長距離の通信ができる無線通信技術の総称。

農業の担い手確保、就農支援の取り組みについて

愛知県田原市

県と市の担当部署を同じ施設(田原農業センター)内に設置し、互いに連携しながら支援を行っています。センターでは相談窓口を一本化し、組織内・関係機関との情報共有を図っています。また、国・県・市・農協等の支援制度を1つにまとめた手引書も作成していました。

市独自の取り組みとしては「農地・園芸施設バンク事業」が挙げられます。貸したい売りたい農地を登録・公開し斡旋をするものです。今後、さらに新規就農につながるよう事業に取り組んでいくとのことでした。

田原市では多くの外国人労働者を受け入れており、本市においても、さくらんぼ収穫期における人手不足解消の参考となるのではと感じました。



埼玉県宮代町

「農」のあるまちづくりをコンセプトに掲げ、様々な取り組みを行っています。

町内で就農を希望する人を研修生として受け入れ、技術指導から販売活動、農業資材や機械等の助成、就農後の支援をしています。また、技術支援や指導できる農家、機械や作業場を提供できる農家を里親農家として登録し、就農者支援をおこなっています。

農業経営を行っていく上で欠かせない農業技術・生産基盤・農業資本などの確保を図っており、町内の農家と連携しながら町独自の支援体制を確立していました。



障がい者の自立支援について

愛知県半田市

半田市の障がい者自立支援の中核を担うのは、障がい者相談支援センターです。平成20年度から相談業務を、社会福祉協議会に委託してセンターを開設し、平成24年度から基幹相談支援事業を担っています。また、障がい者自立支援協議会の運営も行っています。

議会は、福祉に関係する多様なメンバーで構成され、各種事業の企画・運営を行う専門部会と運営会議、相談支援連絡会、事業所連絡会などからなり、障害者の問題を個々の課題から地域の課題として解決に導く事に努めています。

今回の視察で、基幹相談支援センター・自立支援協議会の役割の重要性を感じてきました。



農福連携の取り組みについて

三重県名張市、伊賀市

名張市は山間のため農業の大規模化が難しいという事情があり、農業マスタープランでも、家族農業を守ることに主眼がおかれています。その様な事情で、家族農業の人手不足の解消と、障がい者の社会参加や生きがいづくりという課題解決を目的とする農福連携となりました。

取組みの中心は、農家と障がい者をつなぐ「ジョブトレーナー」を養成し、派遣する事です。農業は多様な作業と対応が求められ、自立に向けての効果が大きく、農作業での経験が、一般就労やA型作業所での就労に繋がっていくという話でした。

本市の農業は果樹中心であり、大規模化・機械化が難しいという事情もあり、農福連携の取り組みは大いに参考になりました。

伊賀市においては、作業の現場をみさせていただきました。



▲農福連携施設の様子(伊賀市)



## 将来の夢

東郷小学校 6年

名和 美咲さん

私の将来の夢は、医者になることです。私は低学年のころ3回骨折しました。その時に治してく



れた先生が心に残っているからです。人の健康や命に関わる仕事につきたいと思うようになりました。

私は、総合的な学習の時間に医者という仕事について調べてみました。すると、私が思っていたより過酷な道でした。

まず、大学の医学部へ入らなければいけません。そして国家試験に合格し、数年間の研修を経てやっと医者になれます。しかし、夢がかなってからも、つらく難しい勉強が毎日あり、24時間体制で勤務しなければなりません。

私は医者という仕事を知って、もつとなりたいたいと思いましたが、あきらめない心と持久力は私の自慢です。自分に向いているとも思いました。

夢をかなえるために、たくさん本を読み、いつも笑顔で人に接し、努力を続けていきたいです。

### 令和2年第1回定例会 日程のお知らせ

2月27日から  
3月19日まで

開催予定

2月27日(木)

開 会  
本会議  
予算特別委員会  
本会議 (会派代表質問)  
本会議 (一般質問)  
本会議 (一般質問)  
本会議 (総括質疑)  
予算特別委員会  
各常任委員会

3月3日(火)

4日(水)  
5日(木)  
9日(月)

3月10日(火)

11日(水)  
12日(木)  
19日(木)

予算特別委員会各分科会  
予算特別委員会各分科会  
各常任委員会  
予算特別委員会  
本会議  
閉 会

※ 日程は、定例会告示後の議会運営委員会を経て、定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

令和元年第4回定例会では、延べ141名の皆様に議会を傍聴していただきました。第1回定例会もぜひお越しください。

### 編集後記

元号が令和になり初めての年越しから、早くも一カ月が過ぎました。

第4回定例会では、各議案と補正予算を審議し可決。一般質問では、11人の議員が質問席に立ちました。

新しい年を迎え、東根市議会もこれまで以上に市民目線で活発に活動をしていきます。

さて今回の特集は「さくらんぼ東根温泉」で活動する方々にお話を伺いました。インバウンド・街の活性化など、これから取り組むべきキーワードがたくさん出てきました。街づくりへの想いを感じた貴重な機会でありました。

今後も議会と市民の距離を近づけつつ、意見交換などが出来たらと思います。

#### 議会広報委員会

委員長 片桐 勝寿  
副委員長 高橋 弓嗣  
委員 三宅 一人

齋藤俊一郎  
山科 幸子  
植松 宏  
高橋 光男